

昭和31年6月18日第3種郵便物認可  
毎月1回1日発行  
定価1部15円  
印刷所 田辺印刷株式会社  
上田市原町 TEL (2) 1492・2566

# 千曲会報

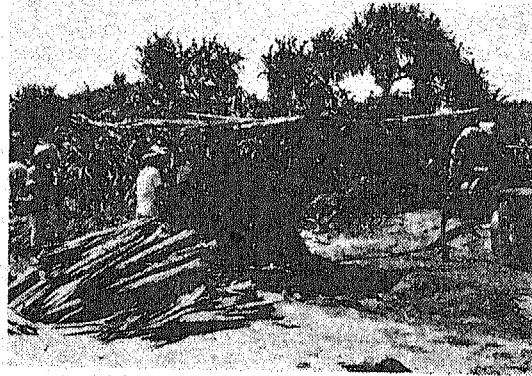
編集兼発行人 小林 尚一  
発行所 社団法人千曲会  
長野県上田市常入信州大学繊維学部内  
振替 長野 6243・東京43341  
電話 上田(2)1215(代表)(2)1218(直通)

## 繊維植物園建設への寄与

信州大学繊維学部 清水 建 美

一昨年の暮頃、特徴ある繊維学部農場の建設の試みとして繊維植物見本園造成の構想が公にされた。私は、昨年度、たまたま、台湾における植物採集を計画していたので、併せて熱帯地域の繊維植物に関する諸種の資料を集めることを考え現在繊維農学科4年の学生3名と共に、本誌136号に記した日程に従って、2ヶ月余り夏の台湾を訪問した。

この計画には、「学内における繊維植物園建設への植物学的寄与、特に台湾よりの繊維植物の導入について」という題目の下に、上田繊維科学振興会より資金の援助を頂いたので同会に対して改めて深謝するとともに、規定に従って、以下に、その成果を発表する。繊維学部付属農場および繊維農学科の諸先生方には何かと御援助頂きましたこと感謝致します。なおこの報告については、奥田紀之、木村公朗、丹羽基治の三君の現地での活躍に負うところが非常に大きい。特に三君の努力を多としたい。



墾丁附近におけるシザル収穫風景

台湾における繊維植物所轄の中心は、台北市所在の台湾省農業試験所内農芸系部門であり、種苗の搬出は、ここから、検驗局を通して許可が出る。諸外国との繊維植物の種苗交換も盛んにおこなわれている。実際に、繊維植物の研究事項を担当しているのは、台南にある直轄機関台南棉麻試験分所であるが、現在、最も力を入れているのが、苧麻類の収集とその改良および各種試験である。私達も、野生、栽培種を問わず、日本産苧麻類を収集し、譲与することを依頼されたし、最近に出版された綿麻試験分所の報告をみても、すべてが、苧麻に関するものであった。なお、同分所では、現在、繊維植物見本園を作りつつあり、一通りのリストが作られている。一方、台湾省林業試験所関係の施設として、各地に分所があり、私達は、恒春分所、蓮華池分所を訪れ、綿麻試験分所とともに、これらの分所を通して種苗の入手につとめた。特に、恒春半島の墾丁一円には、恒春分所が熱帯植物園を経営しているので、生品の入手には随分好都合であった。ところで、このような方途で入手し、持ち帰り得た種苗の主なものは、次の通りである。

- 1, シマタコノキ(林投) *Pandanus odoratissimus* L. var. *liukuensis* (Warb.) Kaneh. (タコノキ科) 琉球、台湾産。葉を裂き著沸し、葉肉を取り除き、硬質繊維を編み物とする。タイワンバナマと称し、バナマソウの代用品として、帽子、敷物などに愛用されている。
- 2, ビンロウジュ(檳榔) *Areca cathecu* L. (ヤシ科) マレーシア原産。葉は羽状。果実を咀嚼嗜好料とする外、果皮を製紙原料に、葉鞘は、うちわ、包装用に使う。
- 3, クロツグ(山棕) *Arenga engler* Becc. (ヤシ科) 琉球台湾産。長さ3mにおよぶ羽状葉を叢生する。葉柄の繊維を

縄、箆、タワシ等に用いる。

4, トウ(黄藤) *Calamus margaritae* Hance (ヤシ科) 中国南部、台湾産。藤椅子は特に有名で、台中、嘉義が産地である。

5, ユスラヤシ(重力山大椰子) *Ptychosperma alexandreae* F. mill (ヤシ科) 澎湖原産。葉は羽状複葉。

6, サバルヤシ(薩巴爾蘭) *Sabal ? inexcianum* Mart. (ヤシ科) 中米原産。葉は掌状複葉。前者とともに、葉鞘の繊維を用いる外、葉を編んで使う。

7, パナマソウ(巴掌馬草) *Carludovica palmata* Ruij et Pav. (バナマソウ科) ベルギー原産。若い葉をうすくさき、編み物として使う。バナマ帽が有名。

8, バインアップル(鳳梨) *Ananas comosus* Merr. (バインアップル科) 熱帯アメリカ原産。葉の硬質繊維は、耐久力に富み、水に強い。

9, リュゼツラン(竜舌蘭) *Agave americana* L. (ヒガンバナ科) メキシコ原産。葉は長さ1~2m、硬質繊維をとる。

10, フィリリュゼツラン(黄辺龍舌蘭) *A. a. var. variegata* Nichols (ヒガンバナ科) メキシコ原産。前者に似ているが、葉の週辺が黄斑となる。

11, シザル(瓊麻) *A. sisatana* Perin (ヒガンバナ科) メキシコ原産。前2者に似ているが、葉の周辺にとげが出ない。根もとから葉を切り落して、4~5年収穫する。台湾では、恒春半島一円に大規模に栽培されている。(写真参照)

12, モーリシャスヘンプ(毛利沙麻) *Furcraea gigantea* Vent. (ヒガンバナ科) 熱帯アメリカ原産。シザルに似るが、葉はうすく、白粉を帯びない。

13, オオギバショウ(旅人蕉) *Ravenala madagascariensis* Sonn. (バショウ科) マダガスカル島原産。葉を包装用に、葉鞘を裂いて編み物に使う。

14, ウラジロエノキ(山黄麻) *Trema orientalis* Bl. (ニレ科) 熱帯アジア産。靱皮繊維をとる。

15, アメリカワタ(海島綿) *Gossypium barbadense* L. (アオイ科) 中米原産。台南にて種子を入手。

その他、インドクサネム・インドソテツ・オオバギ・オオボンテンカ・カミヤツデ・カラムシ・キンゴジカ・グットウ類・シマグワ・シマヒギリ・ソテツジュロ・ダイオウヤシ・タイワンソテツ・ツナソ・ツルマオ・トックリヤシ・トックリヤシモドキ・ヘンヨウボク・ホザキアケビ等を生品または種子にて移入、現在、農場にて育成中である。

なお、未整理ではあるが、繊維植物の腊葉標本も、相当量あるので、整理でき次第、繊維植物見本園管理当局に譲渡される予定である。(筆者は理学博士)

### 村松敬一郎氏農学賞受賞

既に紙上(読売3.16日)に報ぜられたごとく、38年度農学賞(農芸化学会推せん)が村松氏(化4・静大農学部、農博)らに授与された。氏は20年上田卒業後、東大、理研、勤務より28年名大農学部に移り、芦田淳教授、吉田昭氏らと共に栄養化学の研究に従事、37年静大農学部を迎えられ、今回に至っている。

此の度び受賞の対称となった研究は、芦田、吉田氏らとの共同研究になる「物質代謝から見た蛋白質の栄養に関する研究」というもので、従来の栄養化学に一新生面を開いたものと、国内はもとより国外からも高く評価されている。以下簡単に研究内容の紹介を行い、共に業績をたたえ喜びを分かちたいものと思います。研究は I、蛋白質の質および量と代謝 II、アミノ酸のバランスと代謝から成り、松村氏は主として I、の面を取扱った訳である。従来蛋白質の栄養についての研究は動物の体重増加や窒素の出入りを測るといった間接法で行なわれてきたが、この方法では最早や限度があり、これ以上の発展は望めない。そこで生化学的手段を導入、つまりからだ中の栄養状態や、食品蛋白質の栄養価を酵素の活性との関係で判定するという画期的な直接法を開拓し、栄養化学に新しい研究方向をうち立てると共に蛋白質の栄養に発展をもたらした訳である。先づ酵素の活性について研究が開始され、続いて、尿中窒素成分、更に組織蛋白質および核酸の代謝回転へと研究は展開された。

#### (A) 酵素活性

代謝変動をしらべるための酵素として最初に選んだのは arginase と xanthine oxidase である。それは尿中窒素化合物である尿素の代謝に関与するのが arginase であり、またアラントインと尿酸の代謝に関与するのが xanthine oxidase であるからである。蛋白質摂取量あるいはカロリー摂取量によるこれら両酵素活性の変動、これら酵素活性の変動と尿中尿素、あるいはアラントインと尿酸排泄量との関係、さらに酵素活性の成長時期による変動などをしらべることに より酵素活性変動を蛋白質の栄養に関する研究に利用する基礎を与えた。つづいて肝臓中の succinic dehydrogenase, glutamic dehydrogenase, D-amino acid oxidase, glutamic-oxaloacetate transaminase, glutamic-pyruvate transaminase, xanthine oxidase, arginase, uricase, cathepsin, alkaline phosphatase の活性と蛋白質摂取量との関係をしらべた結果、酵素活性変動の様式によりつぎの3種類に分類できることを明かにした。

すなわち(1)蛋白質摂取量の増加に伴って活性の増加する酵素、(2)蛋白質摂取量を増加させるとある程度まで活性は増加するが、その後は一定値を保つ酵素、(3)蛋白質摂取量によってその活性が影響を受け難い酵素に分けられる。

#### (I) xanthine oxidase

肝臓 xanthine oxidase, succinic dehydrogenase など(2)の型式に属する酵素であり、これらの酵素は蛋白質の栄養価の判定に利用し得るのみならず、蛋白質の摂取基準の判定に用いることができるとの結論を導いた。すなわちこれら酵素活性の蛋白質摂取量による変動はシロネズミの成長速度と相関関係のあることを数種の食品蛋白質を用いて明かにした。従来成熟動物の蛋白質摂取基準に関しては、窒素出納法を用いて最小必要量が求められるにすぎなかったが、上述の方法、すなわち酵素活性を指標として成熟シロネズミの蛋白質摂取適量を提出した。

#### (II) arginase

肝臓 arginase は(1)の型式に属する酵素である。蛋白質摂

取量を変化させてしらべた結果、肝臓 arginase 活性は尿中尿素量と相関関係があることを明かにした。ついで arginase 以外の尿素サイクルに属するすべての酵素、carbamyl Phosphate synthetase, ornithine transcarbamylase, arginine synthetase system の活性も(1)の型式に属する酵素であることを見出し酵素活性変動と代謝変動との関係に知見を与えた。さらに蛋白質の質および量を変えて arginase 活性を測定した結果、一定量の尿素排泄に対する arginase 活性は生物価の高いいわゆる良質の蛋白質ほど高い活性を示すことを見出した。このことは一定量の代謝産物をつくるのに要する酵素量が摂取蛋白質の質-栄養価の異なる蛋白質一によって変ることを意味している。蛋白質の栄養価は、いままで摂取した蛋白質のうちで体蛋白質に利用される割合の大きさというだけで表現されていたが、以上の結果はさらに蛋白質の間にそれ以外の生理的差異-代謝病 (metabolic disease) に通ずるもの一を有することが明かにされた。

#### (B) 尿中窒素成分

以上の研究を通じて xanthine oxidase の作用により生成される尿酸とアラントイン(尿酸はシロネズミでは微量ゆえアラントインで代表できる)と、arginase の作用によって生成される尿素の量が蛋白質の栄養価を反映することが予想され、蛋白質の質および量を変えてしらべた結果、 $A/U \times Ip$  ( $A$ =尿中アラントイン量、 $U$ =尿中尿素量、 $Ip$ =蛋白質摂取量)が蛋白質の栄養価を示すことを見出した。

#### (C) 組織蛋白質および核酸の代謝回転

$P^{32}$ -リン酸、 $S^{35}$ -メチオニンを用いて肝臓の核酸あるいは種々の組織蛋白質の代謝回転の速度が蛋白質の摂取量によって異なり、肝臓、腸粘膜蛋白質の代謝回転の速度は酵素で言えば(2)の型式に類似していることを見出した。

従って成長速度、肝臓(腸粘膜も)蛋白質の代謝回転の速度、肝臓 xanthine oxidase 活性の3者間に相関関係があるわけで、成長が劣るときは代謝変動としてあらわれ、このことはいわゆる栄養状態の判定に用いられることを示すものである。

以上栄養素組成-主として蛋白質の質と量-と代謝変動の関係をしらべることにより、蛋白質の摂取基準、いわゆる栄養状態の判定に資するとともに、新しい食品蛋白質の栄養価判定法、食品蛋白質の生理的機能の差異を見出した訳である。尚、時を同じくし、八木、小山、両先生の受賞も報じられたし、かつては田口先生の受賞も報じられた。大学院修士コースの設置と併せ、愈々意を強くし、母校の発展を祈念しつつ欄筆する。(清水記)

(注) 村松敬一郎氏は繊維化学科第4回

現在静岡県磐田市静岡大学農学部助教授 農博  
筆者清水基弘氏も同農学部助教授 農博


為替のご用は

はやくて たしかな

富士をご利用下さい

千曲会へのご送金は、当店宛の振替貯金  
口座長野8523が一番ご利用です

上田市原町

皆様の  富士銀行上田支店

## 八木誠政・小山長雄両先生農学賞受賞

八木・小山両先生には、4月5日日本農学会より栄ある農学賞が授与された。まことに、おめでたいことである。われわれは、両先生に心からなる祝詞をおくり、そのよろこびをまたわれわれのよろこびとしたい。

両先生は「昆虫のめだま」の研究者としてつとに知られているが、今回はその研究の一部「The compound eye of Lepidoptera—approach from organic evolution (鱗翅類複眼の研究—器官進化の見地から—)」が受賞の対象となった。

この研究は、鱗翅目(蝶や蛾)の複眼の構造と機能を器官進化の見地から追求したもので、供試した種類はじつに400種にのぼる。その過去20年間にわたる成果は、37年度の文部省の出版助成費44万円の援助をえて(総額85万円)、38年3月丸善から出版された。

その内容は非常に膨大であるので(B5判、320P)、全体を紹介するには低数が許さないが、とくにわたくしの興味をひいたところを2・3を列記してみたい。

1、複眼にあらわれるパターンの形状で、内部構造や虫の生理状態を推知できる。ひらたくいえば、めだまをみれば、その虫の系統や生理状態がどうなっているかわかるということである。

2、複眼の各部分の構造と活動性とは密接な関係があり、それらの関係を数字で表現(活動評点)することに成功した。つまり、めだまの構造をしらべると、その虫が夜間活動する

ものか、昼間活動するものか、または薄明や薄暮に活動するものかが、数字で現わされるというものである。

3、現行の生物教科書にのせられている視覚にかんする説—モザイク像説—はあやまりである。たとえばある教科書には「節足動物にみられる複眼は、個眼という小さい眼がたくさん集まってできている。個眼にはレンズはあるが、像を結ぶことはできず、光の方向と明暗をみわけるだけである。しかし、それが集まって複眼になるとモザイク的に像を結ぶようになる」とある。後1世紀にわたって支持されたこのミューラー博士の説のあやまりをあらゆる角度から検討し、両先生は新しく、「並立像説」を提唱されている。一言にしていえば、「各個眼がそれぞれに像を結ぶ」ということである。ごくさいきん、外国の学者もモザイク説を批判しはじめ、早晚改訂の気運にあるが、これにききがけて新説を唱導されたことは、まことに快挙といわねばなるまい。

70才に近い八木先生のフェイス、そして研究意欲の息の長さは、われわれの敬服おくあたわざるところであり、またこの研究中の両先生の血脈通ずるコンビネーションは深くわれわれの心を打ったものである。

先生がたはさらに複眼全般の研究へと歩を進められていると聞く。こんごとも健康に注意されていつその成果をわれわれは期待しているものである。

## 同窓会論

— 針塚精神をめぐって —

竹内善吾

元来私は、人生や社会現象を1+1=2位に単純に見ている。人生万般、物理現象だとも考えている。俺がやった、彼がやった等と自慢するのを聞くと無性に腹が立って時に毒づくのである。組織や、権力や、社会現象を予見し、便乗したことの何物でもないのに!!と癪に障るのである。

植物で或ものは数十米もの高さまで水を吸い上げるが、私達学生は、その原理の説明が十分でなかったように思う。植物は硝子管と異って下部から先端に至るまで樹皮を通して蒸散が行われていると考えられる、そうすれば気圧と、水の比重や表面張力等から計算した高さより、上昇することは考えられる。人生、社会、凡そ物理現象であると言えよう。

こうした現象の中に芥川竜之介の言ではないが、人生は正邪、善悪より、好悪によって動いている、としか思われない同窓会への関心も一つには物理的に、その環境に支配され、好き、嫌が生れて来るようである。

私は昭和2年から6年9月まで、母校上田蚕糸専門学校養蚕部に勤務したが、会々、同窓会活動が活発化になされていた頃であったので、母校と同窓会発展のため、同窓生は校内外が一体となって心魂を傾けていたようであった。それは一つには、東京及京都高蚕関への対抗意識が強く働いていたこともあったろうが一つにはパニッシュ中とは言え、蚕糸業が国の経済の上に果していた役割に重い比重を持っており、蚕糸業界に活躍していた同窓生の発言が常に活気に満ちていたこともあったろう。同窓生の発展は即、母校の隆盛と考えられ同窓生の発展は、より良い就職と、その指導幹旋にあると信じられていた。従ってその開拓は格段の努力が払われたように思われる。こうした雰囲気の中に過した私はいつか同窓会

に深い関心を持つようになり、同窓会を最も身近のものに考え、同窓生を見れば、凡て兄弟、知己のように感じ、独特の親近感を抱くようになったのである。このようにして上田蚕試支場でも、岩手県片に在っても、又応召、軍隊に入っても更に戦後教育界に転じても、同窓生の集りや、グループの会合をして楽しんで来たものである。何かの会議等に出ると、この出席者の中に同窓生は誰だろうと数えて見たり、名簿や当選者名簿等見ると、同窓生は誰だろうかと思うようになったのである。

さて、同窓会論等と大上段に構えて、私事に亘る漫文に随したが、同窓会は学校と言う特殊の環境の中で生活した者の任意の団体であるので、幼稚園から大学に至るまで当然存在する筈である。大正の中期まで上田地方の小学校には同窓会があり、会誌を発行したり講演会等を開催して活潑に活動していた例もある。当時、小学校からの進学は極めて少く、高等科卒業と同時に在村、家業を継いでいたため、同窓会活動は継続出来たものと思われる。然るに大正中期の好景気に刺激された資本主義経済は、思想、文化、経済の各般の飛躍的發展を促し、教育は中等教育が一般化し、高、専から更に大学進学者に至るまで急増するに至り、高専以上の卒業者は3~4の同窓会員であると言う結果となったのである。

こうした現実には、遂に小学校同窓会は不振となり、中等学校同窓会の発展となり、次いで高専同窓会の活動また社会の注目を引くに至ったのである。母校に於ける千曲会の昭和初頭を中心とした同窓会活動の日醒ましきは、こうした客観的事情の中に針塚先生の人間愛を核として、学校の規模、内容等の適当であったことに深く根ざすものであると言う見方は、

強ち的外れとのみは言えないであろう。

このようにして、各同窓会の消長はあったにせよ、同窓会の本質や意義が変わったとは思われない、勿論、各同窓会毎にそれぞれ定款、会則等で目的、運営等を定めそこに僅か乍らのニュアンスの相違はあるが、結局は同窓相互の親睦、共栄を図り、出来得べくんば職業上の連絡、依宜を計り合うことは許されてよからう。尚、その上願うところは、交歓、交誼によって人間性の向上を望みたい。

先年、創立50周年を迎えた母校は卒業生5000、初め養蚕、製糸2科であったものが既に数科を加え、大学に昇格するに及んで、改編4科がやがて卒業生を送り出すのである。正にマンモス化の様相を呈しようとしている。従って活動分野も広汎多岐に亘り、これが統一融和は誠に容易ではない。こうした事情の中に、同窓会に対して批判されて来たことは、

- 1、養蚕、製糸両科の卒業生以外は同窓会に比較的無関心である。
- 2、若い卒業生は同窓会に冷淡である。
- 3、総じて同窓会は老化している。この際、組織の若返りをすべきではないか。

等であった。然し乍ら、私はそれは必ずしも当たっているとのみは思っていない。戦前、養蚕、製糸科の卒業生が中心に活動していた頃、養蚕科卒業生の一部には、製糸科出身者に対し聯かの不満があったように記憶するし、その後には紡織科に対し、或は織農、繊維化学科に対し、逐次同じような批判がなされて来たように思う。又若い卒業生に対する批判も既に戦前から言われて来たことである。

由来、主流、反主流——組織や運営の衝に当たっている者を主流と言う意——や新旧の対立は、どの時代、どの社会にもあるし、それと同じような形は職場にも家庭にも絶無とは言えないようである。親の心、子知らずである。子の心、親知らずであるのが現代かも知れない。

もともと先輩は後輩に対し、意識の底では、尊敬と奉仕とを望んでいるのではなからうか。そして、その願が満たされないとフラストレーションを起すのである。後輩や、子供の言動を不問にして批判するのは、この欲求不満の変形と言えよう。凡そ人生、子を持って知る親の恩である。やがて、何時かは後輩諸君も同窓会に関心を持ち同窓意識に目醒める目のあることを私は信じている。先輩が、唯、自己の要望に応えない一時的現象を見て批判し、軽率な希望的言辭を吐くが如きは戒めたいものである。若い諸君は仕事に追われ、或は仕事に熱中し、職場の空気に圧され他を顧る暇がないのである。仮に幾許かの心身の余裕ありとしても、課長、部長、役員程の行動の自由も言論の自由もない筈である。若い卒業生のこうした現実への理解なく、性急な批判の上に、先輩の総退陣によって一挙に責任を負わせしむるが如きことは、単なる責任転嫁か、独りよがりの自己満足の何物でもない。恐らくは同窓会発展に役立つことは極めて少なからうと思うものである。

私は、或は封建的であり、浪花節的であると批判されるかとも思うが、同窓会は常々先輩を尊重し、その社会的信用、

信望を借り、言わば、その名に於て後輩が実務を担当する精神なくしては、その発展は期し得られないものと信じている唯願うところは、先輩も常に後輩に対し、眼を当て、伸ばしてやろう、引立ててやろうと言う同窓愛を傾けて頂きたいことである。唯、問題は兎角、部長、課長、校長等の下で後輩が、この位の我儘は同窓生の故に許されるであると期待しつつ勤務しているが如く杞憂せざるを得ないような俸かの例を仄聞していることや、大学、高校と言わず官界に於ても、先輩が自己の榮進或は保身のために、後輩に対し積極的な協力奉仕を期待し、或は犠牲的に、手段として利用するが如き例を耳にすることである。正に前時代的、封建的思想と言わざるを得ない。教育界、学界には特に根強い派閥と封建性が残存し——医学界は格別強いと思われる——そのため自己榮進のため後輩、或は同窓の協力と稱揚を期待する者、或は同窓は如何に冷遇するも同窓と言う罵に結ばれている事を前提として、これを手段として利用し、同窓外に各種便益を供与し榮進を願う如く見受けらるる例を聞くのは極めて不快である。こうした事例は当然に同窓会本来の会員の相互親和、資質の向上は望むべくもない。

人間関係の深く、特別のものに親子、師弟があり同窓生がある。何れも利害の外にある、人間愛を中心としているからである。この特別の人間関係に於ては積極的な指導と助言が当然あるべきであると思っている。先輩は後輩を叱ってほしいのである。直言してほしいのである。不足を補い、不明を啓いて貰いたいのである。正邪、善悪の具体的な行動については主観も伴いしよう。仮りに主観が伴っても所詮は人生主観である。主観が客観と不一不調の相になるうとも、一人の人間の有する意見、見解は主観と言ふことになる。問題は対象を育てようとする愛情の有無、或は多少にある。後輩の誰彼を選ばず、その人間的生長のために直言しても、如何にそれが苦言であろうとも、敢てそれを言わねばほしいのである慈みをこめ、愛情を感して言うならば、恐らく一人の不満、不快を感ずる者はないであろう。私は先輩にそれを期待しているのである。

凡そ事の成否は人に依ると、言われる。それは一つにその人の社会的信頼度に尽る、政治にもあれ、事業にもあれ、教育文化にもあれその衝に当る者の外は内容、細部については不明に近い場合が多い、唯、その責任者が信頼出来る人であるならば安心して一切を委ねられるのである。信頼出来る先輩を同窓会のそれぞれの責任者に推し、後輩が進んで実務の執掌に当る心構が欲しいのである。学窓を出て数年乃至10年間の期間は、仕事に習熟もしていないし、社会に処するの態度も未熟と言えよう。仕事(職務)への関心を研究、同僚、上司への配慮家庭の煩事等心身の余裕は少いものであるが、困難を排除して、積極的な協力を望むものである。このようなことは理想論に近く仲々容易なことではないが、どうしても心掛けたいことである。唯、兎角陥り易いことは、金合等実際に多額の御芳志を予定して先輩をその任に就いて頂くが如きことである。

## 針塚長太郎先生 — その伝記と追想記 —

われわれの師父針塚先生が  
いかに道をおもい  
人間を愛してきたか……  
あゆみつつけられた道を  
いまあたらしく ふりかえってみよう

A 5 版 280頁 実費頒価 1部 1000円  
(千曲会振替口座 東京43341番を御用下さい)

信州大学繊維学部千曲会館内  
申込先 針塚先生追想録刊行委員会

### 39年度入学式挙行

39年度信州大学繊維学部新入学生宣誓式は4月13日午前10時より母校講堂で挙行された。入学許可学生は次の188名である。

#### 昭和39年度入学許可者氏名

<b>繊維農学科</b> 計23名		花岡 昌和 須坂西高校	
氏名	出身校	伊藤 俊文 大町高校	
大塚 照巳	千葉県長生高校	小松 幸博 諏訪清陵高校	
目黒 和雄	新潟県長岡高校	馬淵 洸 飯田高校	
秋田 勉	福井県高志高校	岩井 具美 静岡県下田北高校	
和田 秀夫	上田高校	武藤 秀雄 愛知県名古屋西高校	
金子 博	上田高校	宇佐美民夫 愛知県名古屋西高校	
尾和三智子	上田染谷丘高校	内藤 典 愛知県岡崎高校	
小山 詔雄	上田城南高校	木村 修二 愛知県岡崎北高校	
箱山 晋	九子実業高校	野倉 忠好 岐阜県関高校	
佐々木史郎	野沢北高校	山崎 茂樹 三重県津高校	
塩川 象光	野沢北高校	山河 秀夫 大阪府天王寺商業高校	
森泉 節江	岩村田高校	中田 建市 大阪府東住吉高校	
清水 治	屋代高校	藤田 武久 大阪府私立高槻高校	
小林 進	須坂西高校	畑 宣則 兵庫県柏原高校	
久野 邦博	愛知県名古屋西高校	山田 泰宏 岡山県岡山朝日高校	
西村 邦昭	愛知県明和高校	藤井 清英 山口県宇部高校	
丸山 泰男	愛知県岡崎工業高校	山口 徹 福岡県京都高校	
芝野 愿	岐阜県郡上高校	服巻 昌平 佐賀県小城高校	
松原 頼	岐阜県坂下高校	<b>繊維工業化学科</b> 計40名	
上垣内郁夫	大阪府阿倍野高校	工藤 迪彦 山形県楢岡高校	
川崎 平章	大阪府岩和田高校	金沢 正善 福島県磐城高校	
寺野 富雄	大阪府夕陽丘高校	落合 武次 神奈川県平塚高校	
井谷 勝武	兵庫県出石高校	青山 明子 新潟県直江津高校	
上原 武	沖繩県宮古高校	村上 幸子 新潟県直江津高校	
<b>紡織工科学</b> 計41名		渡部 豊 新潟県新潟高校	
天沼 清治	福島県相馬高校	豊島 剛 福井県若狭高校	
沢山 邦男	埼玉県熊谷高校	川上 千秋 上田高校	
山崎 英和	千葉県佐倉高校	関口 忠雄 上田高校	
小熊 昭	東京都明正高校	中曾根 弓夫 上田高校	
藤木 信夫	東京都小山台高校	藤井 恒男 上田高校	
二宮 英三	新潟県村松高校	坂井 武文 屋代東高校	
村山 定光	新潟県松代高校	古畑 忠男 長野高校	
稲垣 悟郎	福井県若狭高校	中島 暎子 長野西高校	
小笠原 哲也	上田高校	広橋 満 須坂西高校	
常盤 真寿夫	上田高校	畔上 政治 松本県ヶ丘高校	
中村 明義	上田高校	藤原 平和 松本県ヶ丘高校	
肥後 庄一	上田千曲高校	白沢 秀則 松本県ヶ丘高校	
塩沢 正雄	野沢北高校	大場 章 飯田高校	
田原 忠信	野沢北高校	廣沢 道明 大町高校	
永島 郁夫	野沢北高校	松田 芳穂 大町高校	
近藤 武夫	屋代高校	森本 丘利 岡谷工業高校	
玉井 米重	屋代高校	前島 拓夫 諏訪清陵高校	
篠崎 弘美	長野工業高校	大和 公子 諏訪二葉高校	
金子 俊雄	長野工業高校		
押鐘 信子	長野西高校		
小泉 進	須坂西高校		
古川 多磨夫	須坂西高校		

内山 俱宏	静岡県浜松西高校	野間 敬吾	大阪府市岡高校
野田 猛	愛知県愛知工業高校	森 俊克	大阪府高槻学園高校
吉田 稔	愛知県愛知工業高校	有本 武	大阪府生野高校
竹内 勝見	愛知県半田高校	森田 武	大阪府三国丘高校
所 脩	愛知県半田高校	長尾 勇	大阪府四条畷高校
新谷 明	愛知県名古屋西高校	種谷 剛	兵庫県御影高校
米本 正	愛知県名古屋西高校	水本 博晴	兵庫県兵庫工業高校
久米 飯夫	愛知県刈谷高校	藪 明	和歌山県新宮高校
市川 信三	岐阜県岐阜北高校	渡部 昌志	広島県広島皆実高校
川村 長藏	大阪府今宮高校	李 成一	山口県岩国高校
岡嶋 宏司	大阪府寝屋川高校	芥川 藤	愛媛県舟原高校
宝永 嘉男	兵庫県鳴尾高校	岡村 信秀	高知県高知学芸高校
酒本 義樹	兵庫県姫路南高校	幸野 晴夫	福岡県門司高校
古川 幸孝	島根県松江北高校	<b>繊維化学工学科</b> 計39名	
土田 義昭	長崎県長崎西高校	堀 光夫	山形県酒田東高校
坂本 茂邦	宮崎県都城泉ヶ丘高校	秋山 境	群馬県前橋工業高校
<b>繊維機械学科</b> 計45名		小林 幸夫	東京都八潮高校
林 昌範	福島県会津高校	春原 昭男	上田高校
増成 政三	群馬県高崎高校	西沢 邦宣	上田高校
佐藤 紘	新潟県三条高校	平野 英明	上田高校
徳永 重徳	新潟県柏崎高校	古市 義和	上田高校
里見 茂	福井県若狭高校	堀内 順市	上田高校
前川 庄一郎	福井県若狭高校	岩井 尚武	上田高校
池田 憲治	上田高校	井出祐三郎	野沢北高校
井上 統允	上田高校	池田 利三	屋代高校
太田 豊和	上田高校	青沼 秀彦	長野高校
緑川 利幸	上田高校	竹嶋 幹夫	須坂西高校
山口 広二	上田高校	蛭川 裕敬	松本県ヶ丘高校
武田 秀治	野沢北高校	松原 寛彦	木曾西高校
塚越 正治	野沢北高校	伊藤 文彦	諏訪清陵高校
海沼 正邦	野代東高校	小林 良一	諏訪清陵高校
伊部 信州	屋代高校	小角 宏明	諏訪清陵高校
池田 明文	長野高校	田中 武敏	大町高校
伊藤 国雄	長野高校	古川 和男	飯田高校
窪田 功男	長野高校	松川 共栄	静岡県富士高校
宮下 俊明	長野高校	鈴木 孝郎	愛知県昭和高校
倉科 靖宜	松本県ヶ丘高校	早川 誠	愛知県昭和高校
内山 豊国	諏訪清陵高校	平野 莊二	岐阜県長良高校
田中 登	飯田高校	渡辺 修三	三重県伊勢高校
藤本 功	飯田高校	中北 正信	三重県伊勢高校
久保 進	静岡県韭山高校	児玉 和雄	岐阜県虎姫高校
加藤 泰	愛知県半田高校	渡辺 勝男	大阪府泉陽高校
加藤 義憲	愛知県半田高校	寺田 栄一	大阪府市立東高校
鈴木 勇	愛知県半田高校	見学和三郎	大阪府三国丘高校
原田 正隆	愛知県国府高校	菊地 祐生	兵庫県芦屋高校
島田 勲	愛知県中村高校	出垣 仁志	奈良県天理高校
山本 忠雄	大阪府勝山高校	山田 博	鳥取県米子東高校
藤井 直	大阪府阿倍野高校	尼坂 登巳	岡山県岡山朝日高校
部 英二	大阪府市立南高校	小田 睦司	福岡県東筑高校
		後藤 勝洋	福岡県田川東高校
		後藤 修一	福岡県八幡中央高校
		青木 五郎	宮崎県延岡高校

### 矢田部君の死を悼む

系・2 大 簪 政 平

昭和39年1月12日午後3時半製糸科2期生矢田部忠吉君が永眠せられた。君の英姿は上田入学試験の最初の日から私の印象に残った。実に堂々たる体躯の持主であり威風凛々を払うと云った風格であった。在学中も級の総代を勤めること数々。私共のグラス会を朔風会と命名したのも君の発案であった。卒先して鼻下にヒゲを附えたのも君の一面を語るものであろう。上田を卒えるや間もなく結婚せられたのも君が第一号であった様に聞いた。終始実業界に在り其の大部分は横浜で活躍せられた様で、戦時中は支那に渡り蘇州辺りの糸廠で占領運管理の下に感腕を振られた。戦後の動静はつきり聞き渡した。実は矢田部君とは卒業以来50余年1回のお供りにも接せず、いつもスレ違つて面談の機も得られなかつた。一昨年「あれからの旅路」編集のため、君の履歴書投稿方をお願いしたが、ついに御返事にも接し得なかつた。処が本日突然、君の御遺族から其の訃報に接し驚き入った次第である。然かも其の病名は老衰と承り、あの澹澹たる元気に満ちた往年の君をのみ識る私には、人生何人も免るることの出来ぬ宿命とは知り乍らも、悲痛に堪えぬものがある。ただ嗣子重忠君は既に立派な社会人でもあり、これを以て唯一の慰めとも致すべきか、茲に謹みて君が冥福を祈る次第である。

### ありし日の矢田部忠吉兄を想う

系・7 藤 崎 鑽

矢田部忠吉さんは本年1月12日午前7時老衰の爲め自宅にて逝去されました。誠に哀悼に堪えません。私が同氏を知ったのは大正12年朝鮮光州に全南道是製糸株式会社が創立せられ矢田部さんが抜擢され其の初代工場長に若任あれられた時であります。私は其の当時全南道立原蚕種製造所に道技手として勤務して居った時であります。爾來矢田部さんとは朝鮮に於て10ケ年、戦後私が帰国してより逝去まで19ケ年実に29ケ年矢田部さんの青年時代と老年時代親交を続けたわけで同氏の一身上のこと及家庭のことも私がよく知る1人であるので矢田部さんを知る同窓の方々の何かの爲めにもと思ひ寄稿したわけであります。

以下ありし日の矢田部兄の行道を中述べる前に同氏の職歴を記載します。

- 1, 大正4年4月 福島県原町製糸株式会社勤務
- 1, 大正8年6月 群馬県原富岡製糸株式会社勤務
- 1, 大正12年1月 朝鮮全南道是製糸株式初代工場長に勤務
- 1, 昭和13年5月 支那華中蚕糸会社に重役として勤務
- 1, 昭和17年4月 満州国鞍山市亜鉛砥工業株式会社に副社長として勤務
- 1, 昭和20年6月 上記副社長を辞任帰国。千葉県船橋市本町2丁目1337に安住逝去さる(昭和39年1月12日)

#### 追 想

1) 矢田部さんが道是製糸株式会社に赴任された頃は工場は未完成であった。仍つて同氏は工場長を本職とし事務長兼建築技師の役までもせねばならなかつた。何故かと云えば製糸工場の設計、繰糸機械の据付、蒸気機関の築炉及取付、繭乾燥場の貯蔵庫等の設備取付は製糸独特の技術を要し普通の請負技術者には委かせて置けなかつたからである。それだけに矢田部さんの精神的、肉体的苦勞は並大抵ではなかつた。矢田部さんの業業服の上衣のポケットには常にドライバーと計

尺器が入れてあり工場長自から手を下し取付、修理等をやつて居る場面を私は度々見たことであつた。

2) 道是製糸KKの社長は根津嘉一郎さんで此の会社の資本は根津氏が他の場が全南道民(内鮮人有力者)より出資されて居り最初は重役さんも交代にて会社に出動されて居ったが3年後には重役は出動されず専ら矢田部工場長が重役兼工場長で經營し其の業績は向上し全南道是製糸の生産生糸は生糸検査所でも好評であつた。重役の仕事と技術兩者を委任せられた同氏の責任は重大にて矢田部さんは朝食前及就床前には毎日舎宅を出でては工場を見廻り特にボイラー室、蒸繭室繰糸室は詳細点検してより、朝食又は就床したと云うことであつた。其の際もスバナとドライバーは持参して行つたと云うことである。

3) 矢田部さんの下役の技術主任即ち工務課長は(故)高橋康輔氏であつた。氏は私と同期で(糸7回卒)養蚕科と製糸科と同一講座の時は高橋君と私とは机を並べて習つたこともあつた。同氏の真面目且つ業務確実なる点に矢田部工場長は繰糸関係のことは一切委せて居つたが、輸出生糸の検査の際には工務課長の検査後更に工場長が見られて居つた。矢田部工場長の生糸検査は厳格で且つ正確適正であつた。神戸生糸検査所よりはいつも御はめの言葉を受けて居つたとの事でありませう。

私が度々見たことは矢田部さんがあの堂々たる体軀に白衣の検査服(此の時は業業服ではない)を纏いお開式官ではない同じ白衣の記録係を従ひ鞭を持って生糸を一包一包宛検査し等級をつけ不合格物は除外にと鞭を以て指示せる其の英姿は今もありありと残つて居る。

4) 上田の同窓生が道是製糸KKに來られた時は必ず同工場勤務の同窓生(当時高橋君の外教婦3名勤務せり)は勿論私及私と同じ役所の種生得三君(兼田同卒既に故人)も招かれて一緒戴いたものであつた。当時矢田部工場長舎宅には常時四斗樽のコモカムリが備付けられ來客の時は此の清酒をサイホンにて一升壺に移して出されたものであつたが工場長は來客用には自分は参会者平均一升を出す様用意してあるから一同遠慮なく呑んで歌つて呉れとはよく云はれた言葉であつた。好酒家を指してあれは斗酒尚辭せずの方だと云はれますが矢田部さんも此の部類の方であり最後までおつきはしても嫌の悪いことは寸毫もなく如何に疲れても翌日はけることとして早朝より相不変ず勤務したと云うことである。

5) 最後に終戦後より逝去までの矢田部さんの動静及家族の近況につき中述べることにします。矢田部さんは終戦2ヶ月前に満州国より帰国したので引揚の苦勞はなく安泰であつたされど安閑として遊んで居る人ではない、同氏のケイ眼は当時より現在迄も尚流行しているパチンコ經營に輝いた。同氏は三男坊の園君と共に船橋市の国鉄駅前の土地を購入早速パチンコ屋を始めた。戦後娯楽設備も少なく且つ此の珍らしい遊戯で尚賞品の良いパチンコ屋は早朝より晩まで満員の盛況にてお大いに収入を得た。經營は順調で5ヶ年余続いたが都合に依り朝鮮人に譲り其後は悠々自適は庭園に花を作り夜は一杯やる程度に平和な生活を送つて居つた。然る処今より6年前(昭和33年頃)より矢田部さんには血圧が下がリ視力も衰えて來たため持前の勝気な行動は許さなくなつたので自宅にてラジオを楽みに酒量制限適量を保つて静養して居られた。私は船橋市とは4-5里の八千代町に居住しているので度々御邪魔致し季節物に舌鼓を打ちながら上田の話や朝鮮在任時代の想出に花を咲かせ、次に來る日を約束して歸つたものであつた。やがて38年12月28日例に依つて我が國へ歸つた時、矢田部さんは1週間前より自分の用事が足らなくなつて居つた。然し私を視ると元気で例の朝鮮の話や上田の話や同期生

の話が出て1月12日他界する様子は少しも見受けられなかった。而して私が同家を辞する時は正月には亦昔話をしたいから来て呉れと云はれるので私はそれを約して帰家したのであった。斯くて39年1月12日午前7時同氏は奥様に云わく「僕は今日は気分がよいからゆっくり寝るよ」と云って何時の間にか幽明境を異にして仕舞ったとの趣で側に付添って居た奥様も息の絶えた時刻は知らなかった程、安かに大往生を遂げられたのであった。年齢満73才とのことにてまだ前途あるのに痛惜の至りであります。既に矢田部さんの家族は長男

は大阪市役所の薬局長として既に西ノ宮市に立派な住宅を持ち次男は戦死(特攻隊として出征)3男は名古屋市長島化学工業KKの課長に、又4男は東京工具KKの課長に、5男は未だ独身者にて日本信託銀行本店(千葉大文理科卒業)に勤務し女の御子様3人は全部良家に嫁して居ります。後継者は5男矢田部信忠君にて故人の奥様を見る人は信忠君と親族会議にて決定し後顧の憂は少しもありません。次の紙面の都合もありと考えられますので此の辺で矢田部さんの御冥福を祈り筆を擱きます。

### さ ろ ん

#### これからの旅路(2)

静岡 戸倉 八峰

#### (3) 70才の健康法発案

「50, 60は鼻タレ小僧, 黄金の人生は80から」と言う人生観を説く老名さもある。又、電力の鬼と言われる松永安左衛門翁は現に90才を数えてカクシヤクと活動されている超人的存在である。この様な人々から見れば50, 60はたしかに鼻タランに見えるのは当然である。

新称八峰浪士(やつおろうし)は「あれからの旅路」—<60年の不作を>既に終えて、今や70, 古稀(こぎ)の坂道にさしかかっている。

そこで老齡者が心身に健勝なのは、肉体的によく動き、運動するなどの心掛けと他方これと平行して脳神経を常平せいで使い、運動神経の練磨の継続の二者の努力に依るものなる事は、書本に人の言葉に説かれている。

私は足許もヨボ付き、足もバネが弱くなって肉體訓練は充分でないが、せめて脳神経のしげき丈は出来る限り心掛けて健康法とせんものと発心を初めた。そして之を利用して齢い70—古稀の記念史を書かんかなと昨38年春「これからの旅路」を発案、諸材料を集めてサー、スタートの直前に至った。だが急ブレーキがかかって驚いて1ヶ年延期の余儀なき破目と相成った。

#### (4) 意外な方向変換—ヤマハ楽器販売業発足双葉店

忘れもせぬ昨38年3月1日正午浜松から電話、声はヤマハ日本楽器KKの窪野常務一この人は親戚の一員の関係で、前からいろいろ危介な事を頼んだり、難題を持ち込んだりしていたが、今日の電話は別の事柄で、曰く

ヤマハのピアノ・オルガン・其他の楽器は従来特約代理店を経て現金売りオンリーであったが、今日午前の会議で新しく月賦販売一つまり「月賦KK」も新開して初める事に踏切った。

尚近く「月掛予約販売」ヤマハ・ミュージック・プランYMPもやる事になるから老人2人の軽い仕事で代理店手数料が入るから、孫さんに小遣をハヅメばよりよいオヂイチャン、オバアチャンになれるから是非引受けて初めよう……と云うのであった。

八峰浪士一寸考えて見たら、サテワ赤穂浪士のように浪入して以来20年になるので小遣を与えてくれる慈みの雨か? 待てよそれにしても我正に70、陽は暮れて道遠しと。

そこで曰く、モ—10年若かりせばやろうが今では年寄りの冷水、イヤだと返答した。

所が傍らに聞いていた老婆電話に代って出て、私がやつて見ようかしら、イロイロ教えてくれれば……

窪野常務重ねて曰く。

老人2人顔を向き合ってボソボソ徒座

すれば、共に老化する。少しでも仕事をすれば「張り」が出て若返り健康法の1つになる、是非やるべしやるべし。

とて代理店は極つて了った経緯が右であった。

3月からボチボチ受注も出来て、女の執念恐るべし、之なら1年も経てば何とか少しは仕事になるかとも見込みも出て来た。

夏頃から月掛YMPも初まり、11月には店も改造して小店舗も作って YMP「袋井ミュージックセンター」と銘打って手を伸ばし、これなら1ヶ年後の来年(39年)春3月にはマアアの所まで漕ぎ付けるかも知れん、と「これからの旅路」の記事も、其他の企ての諸材料集めも3月迄は一切閉店休止としたのであった。(39年4.22稿)

晩年に 種紙屋から 楽器店

#### 松沢秀二助教授着任

繊維工業化学科高分子化学講座助教授として松沢秀二氏が着任された。氏は繊維化学科(学部)2回卒、京都大学大学院終了後工学博士の学位を授与され、39年3月まで京都大学工学部高分子化学科の助手として桜田研究室に於いて研究に従事して居り、本学部に移動された。論文はポリビニルアルコールの分解及び架橋について学位を授与されている。

### 林業改良普及叢書22 クリ・クルミの栽培 B6判 290頁

第1部	クリの栽培	農林省園芸試験場長 農博	梶 浦 実 ほか 著	160頁
第2部	クルミの栽培	信州大学繊維学部付属農場長	町 田 博 著	130頁

東京都港区赤坂溜池 三会堂ビル 社団法人全国林業改良普及協会 定価250円 送料50円

現下農村の労力不足に際し、農家経営の合理化にふさわしい省力栽培で収益性の高い果樹はクリ、クルミである。これらの増植は急激に伸びてきたが、従来その実際栽培の指針にピッタリの書はなかった。本書は林業技術員、農業改良普及員等向けに、クリ、クルミの権威がそれら栽培の粋を簡明に書かれた無二の指導書である。

在庫が少なくなりましたから、ご希望者はお早く上田市信州大学繊維学部町田研究室へ御申し込み下さい

### 支会だより

#### 神奈川支会

4月18日箱根湯本にて千曲会神奈川支会総会が開かれ出席させて頂いた。学内に居て考えて居るよりはるかに支会活動は活発であり、若い人々(昨年卒業者も多数出席した)も多く出席した、と云っても年などいう事は感じられず、全員若さにあふれた懇親会であった。目を閉じて話を聞いて居ると学生時代のコンパとちつとも変わらず、これが若い人を出席し易くして居ると改めて主催者に敬意を表した。世の中に洗練され且つ中堅として活躍して居られる先輩の方々を見て若い人々も大いに心を強くしたことと思う。終りに学内から出席させて頂いた事に対し厚く御礼申し上げます。(大屋正尚)

#### 北佐久支会総会

北佐久支会総会を開きたいから支会員その後の動静を知らせるように支会長の大山融さんから電話があった。5月に入って開催すると思ったら4月25日午後5時から小諸市懐古園山城館で開くから役員に出席するよう通知があった。早速役員に連絡をしたが、新学期早々に多忙を極め、それぞれスケジュールが組んであって出席できないので事務局で出席するようにとのことで私が出席することに

なった。国道18号線をバスで約1時間、小諸駅前終点から懐古園は線路を横ぎって隣り、小諸城趾懐古園は葉桜であるが一面新緑がばい。今日はくもりで絶好の日利ではなかったが、公園内は人出で賑っていた。



会場山城館には既に大山支会長初め役員が集まっていた。皆元気な様子を見れば一番嬉しい事であった。大山支会長から挨拶、会務報告、協議が進められた。出席会員15名は支会長より照会あり、出席出来ないとの通知状が26名。支会役員は顧問山崎保太、副支会長に中村広、幹事に田中英一、鈴木公人、宮田三富統の各氏にお世話願うことになった。前支会総会の決定を改めて知らせがあった。支会運営については不如意であるから会費納入にご協力いただくことを決定した。小山俊吾氏から昨年総会に代議員として出席した報告があり、ついで私から本会の事業、会員名簿発行についてのご協力、北佐久支会の管内である御代田町

の楓荘の厚生施設利用開始の運びになった。ご協力に感謝の言葉を述べ、学部近況と学部三門連してご注文あればお取り次ぎすることを申し述べた。協議は一応終って懇親会に入り新緑の匂いたたきよう中で会員の活動近況、事業の宣伝や戦域での研究を語り合うなど盛んであった。何んといつてもアットホームのムードは同窓の集りにしてはならない。

宴間後歌唱があり皆士気雄のうちに学部の発展と千曲会非佐久支会の方を土屋茂一郎さんの音頭で一同に高らかに唱和し散会した。出席各位より多大のご高配をいただいたことを厚く御礼申し上げます。(白井要嗣)

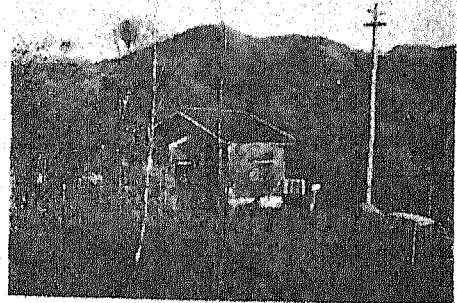
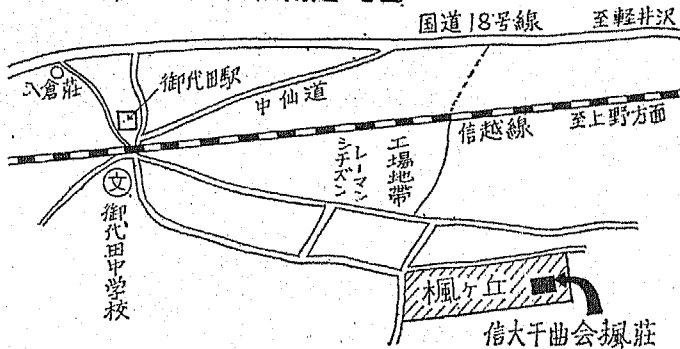
#### 福島支会総会

4月25日郡山市駅前湖月において福島支会総会が開かれた。本部から関博夫理事が出席した。進行は有力支会だけあつて28名の集りで盛況であった。議題は①38年度経費収支決算の承認、②役員補欠選任については副支会長に野田修三、および新に叶沢弘の両氏が決定、③千曲会代議員の選任は総会前まで保留。協議事項は会員の動静、千曲会費の納入について協議し、会費納入は前年は80%の好調であったから本年は更に躍進を期している。会員動静は定期的に支会に報告している書状書詳細は次号に譲る。

### 信大千曲会厚生施設楓荘利用案内

- 楓荘所在地 長野県北佐久郡御代田町楓ヶ丘別荘第120号
- 1, 千曲会員および関係者は楓荘を利用することができます
- 2, 利用設備は宿泊4名、日帰10名分であります。
- 3, 楓荘の利用申込みは千曲会事務局です。
- 4, 利用料は1泊宿泊料は1名 200円、2名 400円、3名 500円、4名 600円
- 日帰り休養料は5名まで1人 100円、6名以上は1人70円
- 5, 1泊は午後から翌日午前中とします。日帰りは午前九時から午後5時まで。
- 6, 施設利用申込みはまずあいているかどうか、文書か電話で千曲会に問い合わせてください。ご利用出来るときまれば申込書に所定の記入をして利用料を添えて千曲会事務局に提出してください。
- 7, 利用者には利用券を発行しますから、これを管理人楓ヶ丘中央ストアに渡して鍵を受取ってください。
- 8, 利用期間7日以上にわたるときは再申込してください。
- 9, 利用者はすべてセルフサービスです。特に火気に充分注意して下さい。利用後は掃除をして戸締りを適確にして鍵を管理人に渡してください。
- 10, 設備および貸与品をき損したときは管理人又は千曲会事務局に出でて弁償して下さい。
- 11, 楓荘にアンケート用紙を備えてありますから、施設改善の資料といたしたいので感想をどうぞ。

#### 信大千曲会楓荘附近略図



- 5, 1泊は午後から翌日午前中とします。日帰りは午前九時から午後5時まで。
- 6, 施設利用申込みはまずあいているかどうか、文書か電話で千曲会に問い合わせてください。ご利用出来るときまれば申込書に所定の記入をして利用料を添えて千曲会事務局に提出してください。
- 7, 利用者には利用券を発行しますから、これを管理人楓ヶ丘中央ストアに渡して鍵を受取ってください。
- 8, 利用期間7日以上にわたるときは再申込してください。
- 9, 利用者はすべてセルフサービスです。特に火気に充分注意して下さい。利用後は掃除をして戸締りを適確にして鍵を管理人に渡してください。
- 10, 設備および貸与品をき損したときは管理人又は千曲会事務局に出でて弁償して下さい。
- 11, 楓荘にアンケート用紙を備えてありますから、施設改善の資料といたしたいので感想をどうぞ。



### 本 会 記 事

#### 学 内 理 事 会 開 催

4月27日学内理事会開催出席者は萩原理事長、山口理事、田口理事、松尾理事、小林理事、白井理事、北条理事、遠藤理事で報告および協議事項は次の通りである。

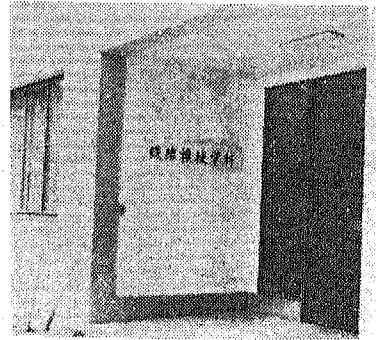
①萩原理事長より3月卒業の新入会員との懇談会の状況報告、支会総会は東京支会総会に賛助員、北条理事出席、安筑支会に竹田評議員、静岡支会に山口理事、神奈川支会に小泉所賛助員、大塚理事、北佐久支会に事務局より白井要範が出席又5月9日の千葉支会総会に田口理事出席することに決定した。②母校火災復興資金募集については3月末申込を締切った。その申込および収支状況について報告あり。実行委員会を5月25日から31日までの間都合良い日に開催すること決定③北佐久郡御代田町の楓ヶ丘の本会厚生施設は名称を信大千曲会楓荘とすることに決定。施設利用開始期も近づいたので利用案内を協議し別掲楓荘案内のとおり決定した。④会員名簿については支会、職場から動静報告の協力を得ている学内の回覧板による動静報告をつつけてもらうことに決定。次に名簿広告については現在15会社から申込を得ている。

支会に会社広告の状況を照会して予定広告を達成するように努めること。

#### 緑間武氏(糸35回)母校に 大理石門票を寄贈

このたび、遠く沖繩の地で活躍中の同窓緑間武氏より寄贈された大理石門標(写真)が、繊維機械学科の新館正面玄関に掲げられ、同館に一段と光彩を放っている。これは昨年、繊維機械学科の新館落成を記念して同氏より寄贈されたもので、縦35cm、横150cm、厚さ4cmの琉球産高級大理石が用いられている。同氏は日頃から母校発展のためには陰に陽に絶大な協力を惜しまない熱血の士であり、今

回の好意にたいしても、関係者一同が感激している。目下、十和銘石株式会社、沖組関ヶ原石材会社、勝連トラパーチン砕石社ならびに中部鶏肉株式会社の各社長として、益々その敏腕を振り、今後の発展が大いに期待されている。(青沼)



#### 会 報 編 集 委 員 会 開 催

4月21日編集委員会を開催出席は小林理事、香山理事、小山定、小林勝、大工原建、滝沢達雄の各氏委員で5月号会報編集について協議した。

青葉の初夏も近いので千曲会厚生施設楓荘の宣伝をかね編集委員会を楓荘において開催することに内定した。

#### 会 員 動 静 部 委 員 会 開 催

4月30日会員動静部委員会を開催。出席者は関理事、遠藤理事および田中茂光押金健吾、三石賢、金井清、小笠原真次の各氏委員で、協議事項は①各学科の動静整備の進捗状況報告あり5月15日更にその後動静を追究整備することに決定。②名簿の編集方法について上質紙を使用すること。勤務所欄を広くすること。物故会員名は索引しなおいで卒業該当回数に終りに記名すること。③会社の協賛広告については各支会にその後の進捗状況を照会して予定の広告を得よう努力すること。

### 母 校 ニ ュ ー ス

#### 学 内 人 事

○4月1日付中島通会計係長は信州大学本部会計課長補佐に栄転された。又会計係長には菅原大正治管理係長が就任、管理係長には松井信文部事務官が昇任された。

○4月1日付東林嘉信州大学出納課長補佐が事務長補佐に就任された。

○4月1日付京都工芸繊維大学岩崎振一郎教授は信州大学教授に転任発令繊維学部繊維化学工学科反応工学を担当される

○4月1日付京都大学工学部松沢秀二助手は信州大学助教授に転任繊維学部繊維工業化学科有機化学を担当される。

○新学期から一般教育部の主任は選挙の結果天白一馬教授に決定した。

#### 教 職 員 組 合 総 会 開 催

4月25日正午より市上田温泉において教職員組合の総会を開催し昭和38年度事業報告および決算並びに昭和39年度予算について協議原案が可決された。なお役員改選の結果執行委員長に野口新太郎教授、副委員長に長島栄一助助が選任された、又執行委員には清水建美、小笠原真次、小林勝、松井信、金井清、滝沢俊治、内藤勝之、山崎隆、池田圭子の各氏が選任された。

#### 織 維 化 学 工 学 科 実 験 研 究 室 竣 工

昨年度より建設中の繊維化学工学科実験研究室第1期工事は3月20日竣工検査完了した。鉄筋コンクリート3階建、延1005.3平方メートルで1階は化学工学実験室、工作室、事務室、準備室、セミナー室2階は化学実験室、天秤室、準備室、超真空実験室、教官室、3階は製図室、セミナー室、準備室、精密測定室、光学測定室に構成され現在反応工学講座の岩崎研究室が入室している。

なお第2期工事は39年度において建設することになっている。



オルガン  
ミシン針

長野県小県郡塩田町

オルガン針株式会社

TEL 塩田 650

社長 増島芳美



皆様の百貨店

上田・中央

ほていや

会 員 動 静

小林 進 糸 20 近 畿 郡是製糸大阪本社技術部(大阪  
市北区梅田2(第一生命ビル))

角田 勝郎 糸 20 愛 知 三菱レイヨン豊橋工場(豊橋  
市牛川町半の木)

太田 保 紡 26 愛 知 大田ジャージ工場長 豊橋市  
狐田町5-54

滝沢 昌一 蚕 26 東 京 大平工業株式会社 東京都練  
馬区谷原町2の2262 電(996)  
6704

山口 雅男 学紡10 富 山 呉羽紡績KKK川川工場 射水  
郡大門町呉羽雄神寮

富山 昌臣 学農12 栃 木 昭栄製糸株式会社小山工場  
栃木県小山市稲葉郷1001

西沢 厚男 学糸12 神奈川 横浜生糸検査所検査第一部(横  
浜市中区北仲通り5の57)  
(住) 横浜市西区霞ヶ丘33 横  
浜生糸検査所霞ヶ丘寮

角田 幸雄 糸 38 山 陰 島根県立女子短期大学(松江  
市内中原町275)

谷内田昭一 糸 34 群 馬 前橋市立女子高等学校(前橋  
市東町116) 前橋市南曲輪町  
130 電(2) 9905

高島 忠 学紡5 東 京 日本SKF株式会社(東京都  
港区芝公園7ノ1) 東京都中  
野区新井町1の12

柄沢 博美 農 3 更 埴 長野県更埴農業高等学校(篠  
ノ井市)(住)長野市箱清水234

小松 典 蚕 35 安 筑 長野県松本深志高等学校 松  
本市蟻ヶ崎

杉島 薫 学農12 静 岡 東海染工横浜松事業所 静岡  
県浜松市中田町846 (住)同上  
協親寮304

富入 昭一 化 7 千 葉 (住)千葉県松戸市上本郷町の  
台1273

三村大八郎 糸 32 安 筑 三村医院(医博) 長野県東筑  
摩郡朝日村西洗馬 電朝日65

上野 正美 蚕 31 埼 玉 片倉工業熊谷工場(埼玉県  
熊谷市熊谷701)

田中 武治 化 6 静 岡 三島製紙御吹田工場(大阪府  
吹田市東御旅町11番46)(住)  
大阪府東淀川区上新庄町3丁  
目92-6

小林 英夫 学紡3 近 畿 滋賀県大津市膳所上別保町東  
洋レーヨンアパートB2, 24

田中 勇三 学農12 三 丹 郡是生糸御生糸事業部蚕系研  
究所(綾部市青野町)

渡辺 和子 糸別8 東 京 東京都練馬区大泉学園町 766  
の1の4(田畑伊東)

城田 茂穂 蚕 専 埼 玉 丸和蚕糸(株)(深谷市栄町)  
(住) 深谷市東大沼367の1

清水 智英 糸 34 北佐久 長野県蘭検定所小諸支所  
今井 邦夫 紡 27 愛 知 大東紡織株式会社(名古屋  
市北区織部町)名古屋市中  
区東区杉町4ノ32

山浦 道雄 学化11 山 陽 帝人(株)三原工場(広島県三原  
市宮内町帝人筆影寮)

立野小太郎 蚕 37 宮 城 宮城県黒川高等学校(宮城県  
黒川郡大和町吉岡字東柴崎62  
) (住)宮城県大和町吉岡道下  
住宅

清水達太郎 蚕 1 千 葉 千葉県市原市喜多861番地(市  
津町区内)

大田 連雄 糸 25 上 小 上田市教育委員 武田味噌醸  
造 上田市柳町 上田市長島

藤島 一千 紡 12 石 川 石川県立小松工業高等学校  
小松市打越町内67 (住)小松  
市島田町唐114

黒田誠一郎 糸 8 石 川 金沢市菊川町2丁目9番26  
島田 潤一 学農11 近 畿 日本ケミカル工業(株)大阪  
市東淀川区西沼路町3の23(住)大  
阪市東淀川区西沼路町3の52  
太陽荘21号

大塚 五郎 紡 22 北佐久 小諸市本町 電小諸28  
長井 一夫 蚕 37 群 馬 安中蚕糸高等学校(安中市)  
(住)群馬県甘楽郡妙義町大牛  
89の1

水野 義男 蚕 22 埼 玉 農林省埼玉統計調査事務所  
浦和市岸町5ノ105 (住)鴻巣  
市宮地1696

田辺 久 学糸6 越 佐 勤前の通り(住)五泉市水島町  
758の14

大塚 直人 紡 26 近 畿 呉羽紡績株式会社壬事業部  
大阪市東区本町2の28

山極 明 学紡2 近 畿 同上  
高橋 重造 化 9 諏 訪 岡谷南高等学校 岡谷市湖畔  
1丁目28番地ノ1

北沢 正巳 糸 38 上 小 増田機械工業(株) 上田市祝町  
上田市新参町5428

菊地 六郎 蚕 37 福 島 郡是製糸本宮蚕種製造所(福  
島県安達郡本宮町栗田)

三瓶常四郎 蚕 18 福 島 福島県白河農工高等学校長  
(白河市瀬戸原6の1)

各種靴下機製造

大東製機株式会社

本 社 静岡県三島市外清水町柿田 922  
電 (5) — 2 5 2 0 ~ 2 5 2 2

東 京 東 京 都 台 東 区 浅 草 蔵 前 2 - 7  
営 業 所 蔵 前 会 館 ビ ル  
電 (866) — 6424. 6508. 1693

編集室より

若葉薫る5月となり学園も4月13日新入学生188名を迎え  
清新に充ちて来た。建設中の繊維化学工学科研究室第一期工  
事竣工新緑のなかに堂々と新装を見せている。本会厚生施設  
楓荘の利用期も近づいて来た記事案内ご諒承せいぜいご利用  
のほどお待ちいたします。

会員名簿編集準備は着々進んでいます支会から又職場から  
動静のお知らせ等でご協力有難うございます。

編集委員 小林尚一, 香山清和, 大塚正尚, 吉平福紀  
窪田 衛, 大工原建, 小山 定, 滝沢達夫  
小林 勝, 白井要範